

広島市指定重要文化財

指定区分	広島市指定重要有形文化財（歴史資料）
名称	仁王護国般若波羅蜜經板木 <small>にんのう ごこくほんにやほら みつきょうほんぎ</small>
所在地	広島市安佐北区可部町綾ヶ谷 2 5 1
所有者	氏名 宗教法人福王寺 住所 広島市安佐北区可部町綾ヶ谷 2 5 1
員数	6 枚
概要	板木（サクラ材（推定））※両面に陽刻 （縦×横×厚さ） (1) 24.8cm×87.3cm×2.6cm (2) 24.3cm×89.2cm×2.4cm (3) 23.7cm×84.8cm×2.8cm (4) 24.4cm×71.7cm×3.2cm ※一部欠損 (5) 24.3cm×86.0cm×2.8cm (6) 23.2cm×85.7cm×2.4cm 時代 鎌倉時代
文化財的価値について	<small>にんのう ごこくほんにやほら みつきょう</small> 仁王護国般若波羅蜜經（ <small>にんのうぎょう</small> 仁王經）は、護国三部經のひとつとして国家鎮護を祈念する法会（ <small>にんのうえ</small> 仁王会）において唱えられていた經典である。 本板木は、版下の書風を良好に残す刻字を備えることなど春日版形式に通じる特徴を示し、厚く重みがあることから、鎌倉期に遡る可能性が高い。 また、当寺には江戸期の板木も伝存しており、中世から近世にかけて、当寺で出版活動が行われていた可能性を示唆している。 このように、本板木は、經典の相当部分がまとまって残る点及び伝来状況から、中世における印刷文化史を物的に裏付ける歴史資料であるとともに、当地域における鎌倉期に遡る板木の現存例としても希少である。



仁王護国般若波羅蜜經板木 (1)



仁王護国般若波羅蜜經板木 (2)



仁王護国般若波羅蜜經板木 (3)



仁王護国般若波羅蜜經板木 (4)



仁王護国般若波羅蜜經板木 (5)



仁王護国般若波羅蜜經板木 (6)

